

# 秋田市の公共交通に関するアンケート調査 【WEBアンケート結果】

令和2年10月  
秋田市

## 1. アンケート調査概要

### (1) アンケート調査の目的

- ・本調査では、下記を目的にWEBアンケートを実施。
  - ・将来に渡り公共交通を維持する必要性を明らかにすることを把握。
  - ・新たな利用促進施策に対するニーズ把握（例：インセンティブの利用意向等）
  - ・「第2次ビジョン・交通戦略」で位置づけた施策の評価（重要度・満足度）

### (2) 実施概要

#### 1) アンケート配信対象エリア

- ・秋田市内に在住の15歳以上のWEBモニター登録者1,200サンプルを目標に回収を行った。

#### 2) 調査期間

- ・令和2年9月11日（金）15時～9月15日（火）10時の約4日間で実施した。

#### 3) 設問項目案

項目	主な把握事項		備考
1. 利用特性	回答者属性	・年齢、性別、職業、居住地、居住年数、出身地、出身地の都市規模、家族構成、運転免許・自家用車保有状況、送迎状況、高襟者になった場合の運転状況	
	日常的外出行動	・外出目的、目的地、外出時間帯、外出時利用交通手段、バス・鉄道の選択理由、公共交通未利用理由	コロナ前後を把握
	バス・鉄道利用状況	・頻度、目的、利用区間、満足度	
2. 施策ニーズ	公共交通をより良くする取り組み	・バス路線のサービス向上の取り組みについて良いと思う内容	
	今後の施策への活用	・普段の生活における移動環境の評価、不満を感じる交通手段・移動目的、バスの乗り継ぎに関する意識、乗り継ぎをしても良い理由	
3. 現計画評価	・重要度・満足度の5段階評価		
4. 自由意見	・秋田市の交通政策に関する意見等		

回収サンプル：1,254サンプル（無効回答除く）

## 2.アンケート調査結果：概要

調査項目		結果概要	資料頁
回答者属性	性別・年齢・職業・家族構成	・若干男性が多く、年齢は40・50代が約半数、職業は会社員が約4割、家族構成は夫婦・親と子供世帯が約8割。	4
	居住地	・市中心部が約4割、土崎地区・仁井田地区・広面・新屋地区が各約1割。	5
	居住年数、出身地、出身地の都市規模	・居住年数は20～50年が約5割、出身地は秋田市内が約6割。 ・県外出身者約2割のうち、「秋田市より規模が大きい街」は約5割（全体の約7%）。	6
	運転免許保有状況・自家用車保有状況・送迎・高齢者になった場合の運転の不安	・約9割が運転免許保有、約7割が自分専用自家用車保有。 ・「家族が運転する自家用車がある」、「自家用車なし」と回答した約15%のうち、送迎状況は「送迎による移動は難しい」が約4割（全体の約6%）。 ・高齢者になった場合の運転の不安は、「運転に不安はない」が約4割。	7
日常的 外出行動	外出目的・外出時間帯・目的地	・外出目的は通勤が約6割、買物が約2割。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、「買物」、「通院」、「定期的な外出なし」の割合が増加。</b> ・出発時刻は7・8時台、帰宅時刻は18・19時台が約2割。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、出発時刻では7・8時で約1～2%減少、帰宅時刻では11・15時で約1～2%増加。</b> ⇒ <b>コロナ後では日常的な外出を控えた動きが現れているが、全体的な傾向の変化はない。</b>	8
	外出時交通手段・バス、鉄道の選択理由・公共交通を選択しない理由	・外出時の主な交通手段は自家用車利用が約8割。バス・鉄道は約1割弱。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、「徒歩・自転車」が約1ポイント増加。「自家用車（自分で運転）」は微増。「バス」は微減。</b> ⇒ <b>コロナ後では個人による移動が若干増加。</b> ・外出時の主な交通手段をバス・鉄道と回答した約7%（78人）のうち、バス・鉄道を選択した理由は、「交通費が安くすむ」、「自宅から駅やバス停が近い」、「交通手段が他にない」が約4割（全体の約3%）。 ・外出時の主な交通手段をバス・鉄道以外と回答した約9割のうち、公共交通を選択しない理由は「利用したい時間帯に合うバス・鉄道がない」が約3割。	9

2

## 2.アンケート調査結果：概要

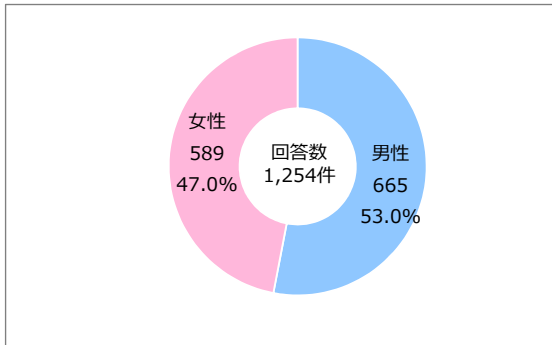
調査項目		結果概要	資料頁
バス・鉄道の 利用 状況	頻度・目的・満足度	・利用頻度は「ほとんど利用しない」がバスで約7割、鉄道で約7～8割。「週に2回以上」がバスで約4%、鉄道で約2～3%。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、「ほとんど利用しない」が約1割増加。</b> ・利用目的は「観光・レジャー」が約4割、「買物」「通勤」が約2割。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、「観光・レジャー」が1%減少、「買物」「通勤」が1%増加。</b> ・満足度は「気にしたことはない」が約4～5割を占める中、「満足」の回答は「目的地までの所要時間」で約5～6%、「不満」の回答は「運行間隔」で約3割と多い。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、「気にしたことはない」が増加。満足、普通、不満が減少。</b>	10
	利用区間	・バスは「秋田駅」「県庁市役所前」、鉄道は「秋田駅」「土崎駅」「羽後牛島駅」で最多。 ・ <b>コロナ前後で比較すると、バス停・駅毎に増減があるものの傾向の変化はない。</b>	11
施策 ニーズ	バス路線のサービス向上の取組について良いと思うもの（上位3つまで）	・「バスの現在位置など、リアルタイム運行情報発信」が約4割で最多。 ・次いで、「ICカードなど便利な支払い方法への対応」が約3割。 ・次いで、「一定の範囲であれば均一料金にするなどの、わかりやすいバス運賃の設定」が約2割	12
	今後の施策への活用	・普段の生活における移動環境の満足度は「不満」「少し不満」を合わせて約2割。 ・「少し不満」「不満」の回答者約2割のうち、不満を感じる交通手段は「バス」が7割（全体の約13%）で最多、次いで「鉄道」が約3割（全体の約6%）。 ・「少し不満」「不満」の回答者約2割のうち、不満を感じる移動目的は「買物」「通勤」が約4割（全体の約7～8%）。 ・バスの乗り継ぎは「乗り継ぎはしたくない」が約5割。「条件次第で可」「乗り継ぎはしたくない」の回答者約9割のうち、乗り継ぎをしても良いと思う施策は「乗り継ぐバスがすぐに到着すること」が約6割（全体の約5割）。	13
現計画の 評価	重要度・満足度	・重要度は「歩行者が安全・安心かつ快適に通行できる空間の整備」が約4割で最多。 ・満足度は「歩行者が安全・安心かつ快適に通行できる空間の整備」が8.4%で最多。	14
	自由意見	・バスに関する意見が最多、次いで公共交通全般、道路に関連する意見など。 ・主な意見：・バス料金が高すぎて、本数も少ないので、秋田では通勤に自家用車は必須。 ・コンパクトシティを謳っているが、自家用車を利用しない層への視線が欠けている。	15

3

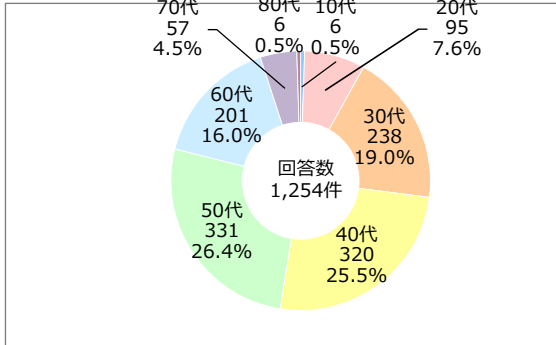
# 調査結果1.回答者属性

- ・回答者の性別は男性が約5割、年齢層は20代以下・70代以上が約1割、30代・60代が約2割、40代・50代が約3割。
- ・職業は「会社員」が約4割、「アルバイト・パート」、「専業主婦・主夫」が約1割。
- ・家族構成は夫婦世帯・親と子供世帯が各約4割。

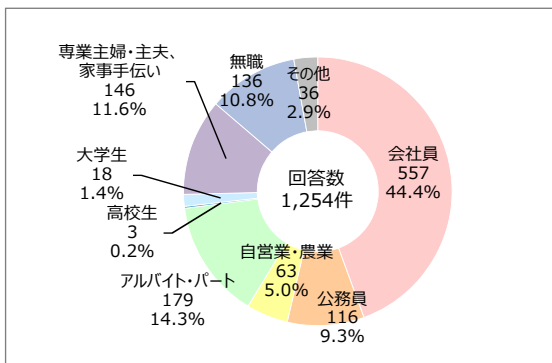
## ■性別



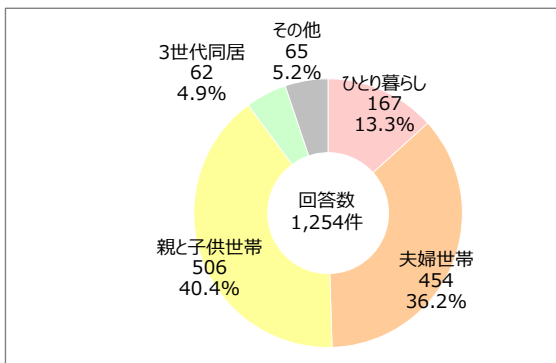
## ■年齢



## ■職業



## ■家族構成

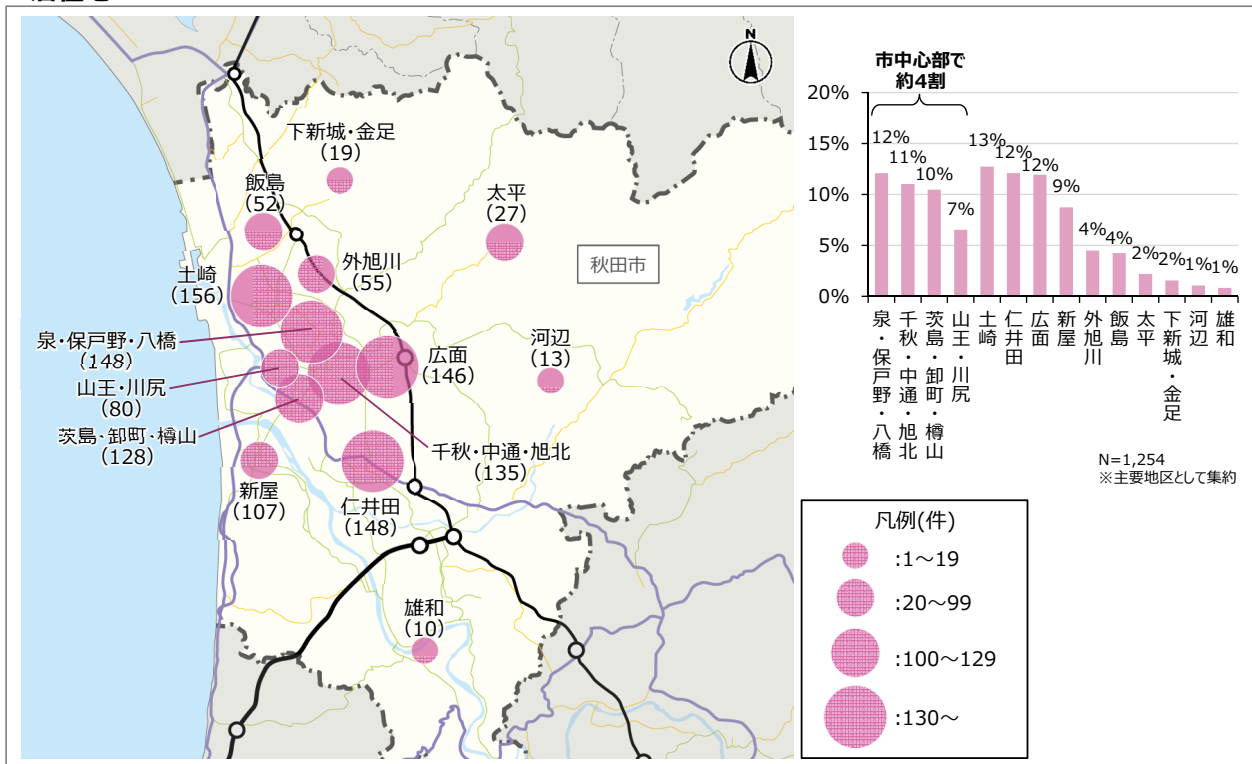


4

# 調査結果2.回答者属性

- ・居住地は市中心部で約4割、次いで土崎・仁井田・広面・新屋が各約1割。

## ■居住地

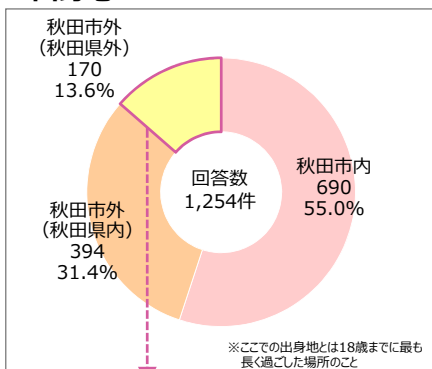


5

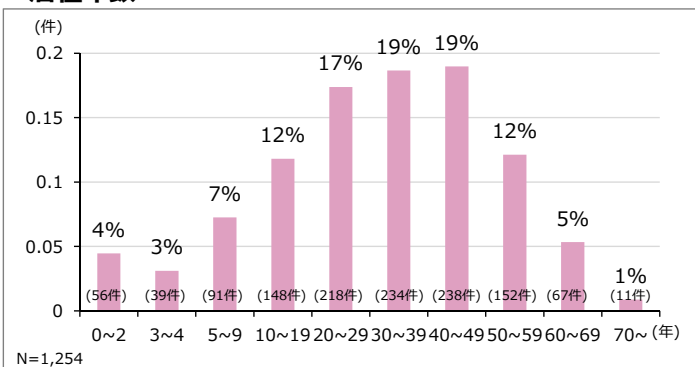
## 調査結果3.回答者属性

- ・出身地は秋田市内が約6割、秋田市外（秋田県内）が約3割、秋田市外（秋田県外）が約1割。
- ・「秋田市外（秋田県外）」出身者約2割のうち、「秋田市より規模が大きい街」が約5割（全体の約7%）。
- ・居住年数は20～50年が約6割。「秋田市外（秋田県外）」出身者約2割のうち、居住年数20年未満が約6割（全体の約8%）。

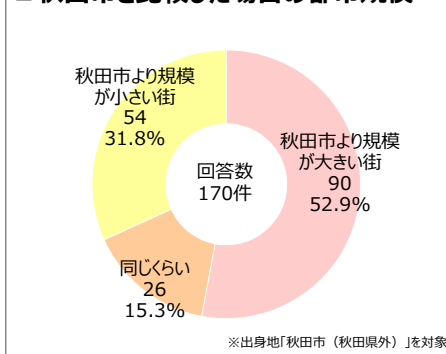
### ■ 出身地



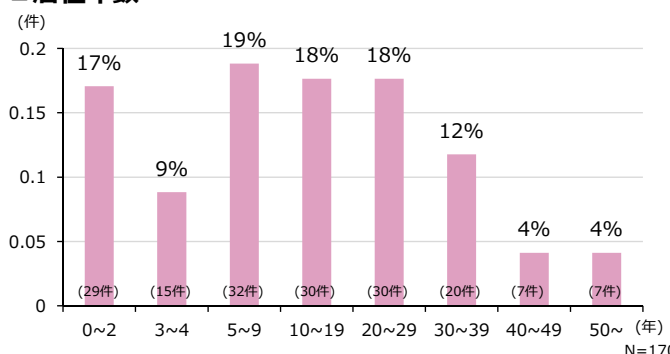
### ■ 居住年数



### ■ 秋田市と比較した場合の都市規模



### ■ 居住年数

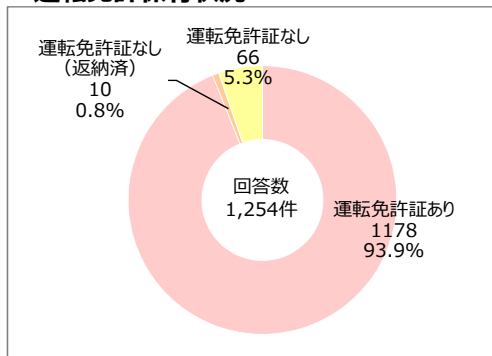


6

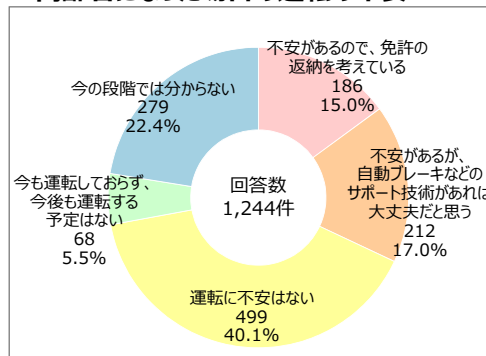
## 調査結果4.回答者属性

- ・約9割が運転免許保有、約7割が自分専用自家用車保有。
- ・「家族が運転する自家用車がある」、「自家用車なし」と回答した約15%のうち、送迎状況は「送迎による移動は難しい」が約4割（全体の約6%）。
- ・高齢者になった場合の運転の不安は、約4割が「運転に不安はない」と回答。

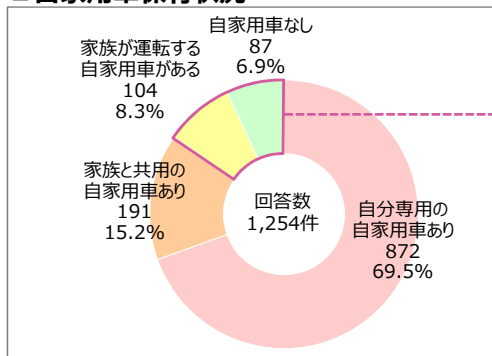
### ■ 運転免許保有状況



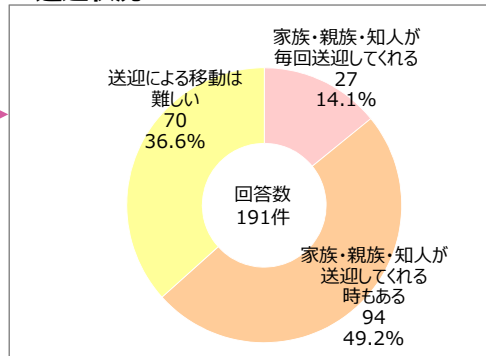
### ■ 高齢者になった場合の運転の不安



### ■ 自家用車保有状況



### ■ 送迎状況

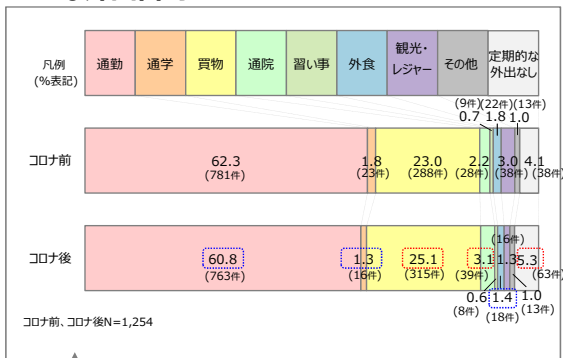


7

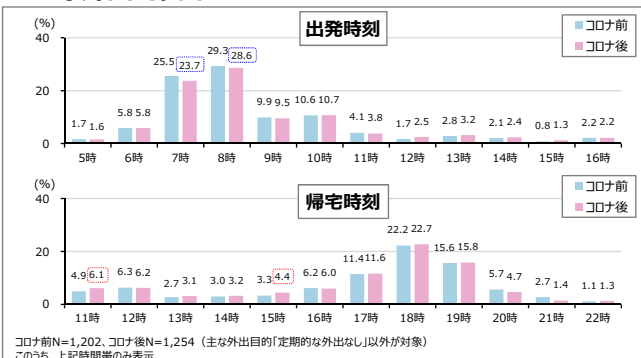
# 調査結果5. 日常的外出行動

- ・主な外出目的は通勤が約6割。コロナ後では「買い物」、「通院」、「定期的な外出なし」の割合が増加。
- ・主な外出時間帯は、出発時刻は7・8時台、帰宅時刻は18・19時台が約2割。コロナ後の出発時刻7・8時で約1～2%減少。
- ・主な目的地は「山王・川尻地区」、「秋田駅」が10%以上。秋田駅ではコロナ後1.5ポイント減少。

## ■ 主な外出目的

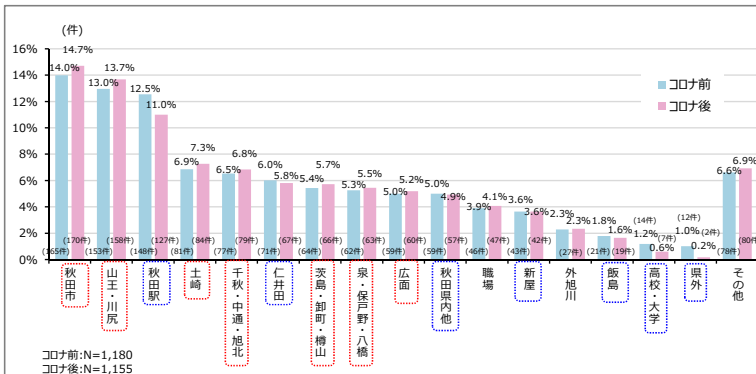


## ■ 主な外出時間帯



## ■ 主な目的地

「その他」内訳	コロナ前	コロナ後
子供の送迎	3	4
運動	2	2
ドライブ	1	1
家族の送迎	1	1
仕事	1	1
手伝い	1	1
ツギリング	1	1
地域団体の活動	1	1
散歩	1	1
ボランティア	1	0
合計	13	13

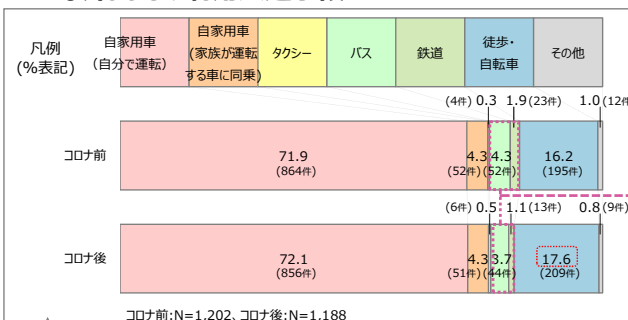


「その他」内訳	コロナ前	コロナ後
買い物	27	32
太平	9	9
近隣	6	8
中心部	7	7
病院	5	5
河辺	5	5
雄和	6	5
下新城・金足	5	4
現場仕事なので毎回異なる	1	1
東北各地	1	1
息子が通う学校	1	1
JR工場	1	1
旅行	0	1
日本全国 道の駅	1	0
県外や観光地	1	0
秋田県内外	1	0
海外	1	0
合計	78	80

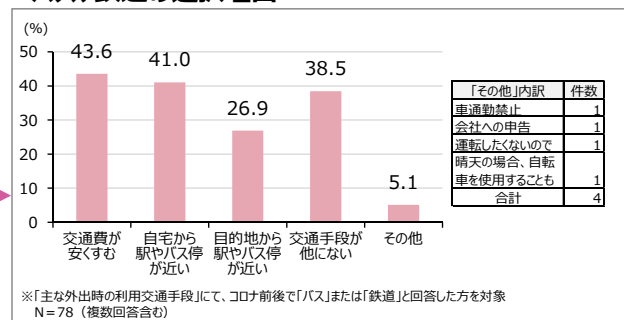
# 調査結果6. 日常的外出行動

- ・外出時の主な交通手段は自家用車利用が約8割。バス・鉄道は約1割弱。コロナ前後で比較すると、「徒歩・自転車」が約1ポイント増加。「自家用車（自分で運転）」は微増。「バス」は微減。⇒コロナ後では個人による移動が若干増加。
- ・外出時の主な交通手段をバス・鉄道と回答した約7%（78人）のうち、バス・鉄道を選択した理由は、「交通費が安くすむ」、「自宅から駅やバス停が近い」、「交通手段が他にない」が約4割（全体の約3%）。
- ・外出時の主な交通手段をバス・鉄道「以外」と回答した約9割のうち、公共交通を選択しない理由は「利用したい時間帯に合うバス・鉄道がない」が約3割。

## ■ 主な外出時の利用交通手段

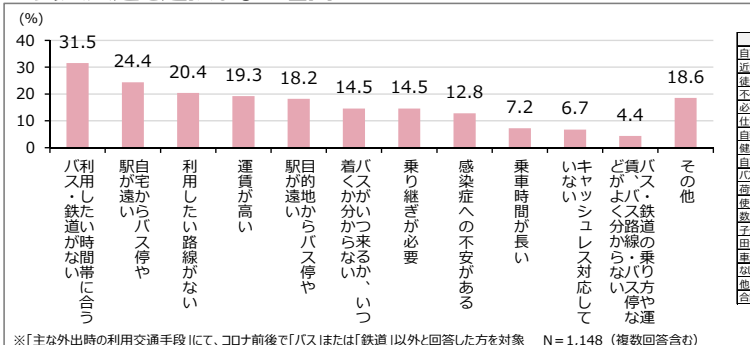


## ■ バス、鉄道の選択理由



「その他」内訳	件数
車通勤禁止	1
会社への申告	1
運転したくないので	1
晴天の場合、自転車を使用する	1
合計	4

## ■ 公共交通を選択しない理由

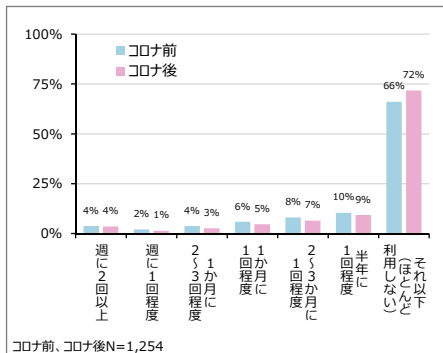


「その他」内訳	件数	全体割合 (%)
自家用車があるから	80	7.0
折りが	23	2.0
徒歩圏内	19	1.7
不便	14	1.2
必要ない	12	1.0
仕事上車が必要	9	0.8
自転車でも移動できる	7	0.6
健康のため	6	0.5
自家用車以外だと移動が不便	5	0.4
バスに乗るほどの距離ではない	4	0.3
荷物があるため	4	0.3
使えない	3	0.3
数分前立ち着くため	3	0.3
「遅れて荷物がある」事が多い	2	0.2
田舎は大抵自家用車通勤が当たり前の	2	0.2
車通勤を指定されている	2	0.2
なし	5	0.4
他	13	1.1
合計	213	18.6

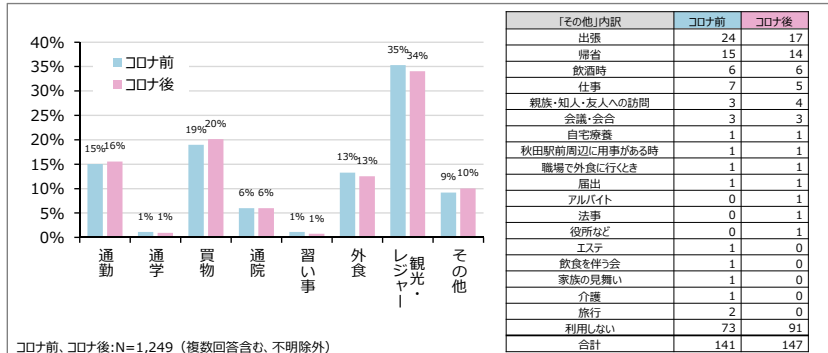
# 調査結果7.バス・鉄道の利用状況

- ・利用頻度は「ほとんど利用しない」がバスで約7割、鉄道で約7～8割。「週に2回以上」がバスで約4%、鉄道で約2～3%。
- ・利用目的は「観光・レジャー」が約4割、「買物」「通勤」が約2割。
- ・満足度は「気に入ったことはない」が約4～5割を占める中、「満足」は「目的地までの所要時間」で約5～6%、「不満」は「運行間隔」で約3割と多い。

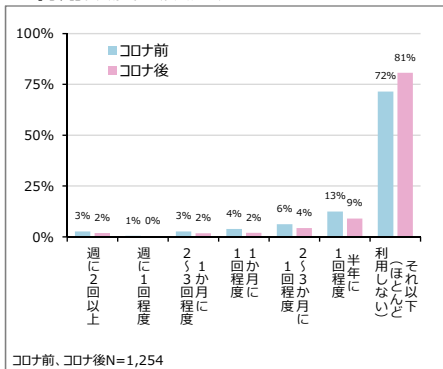
## ■ 利用頻度 <バス>



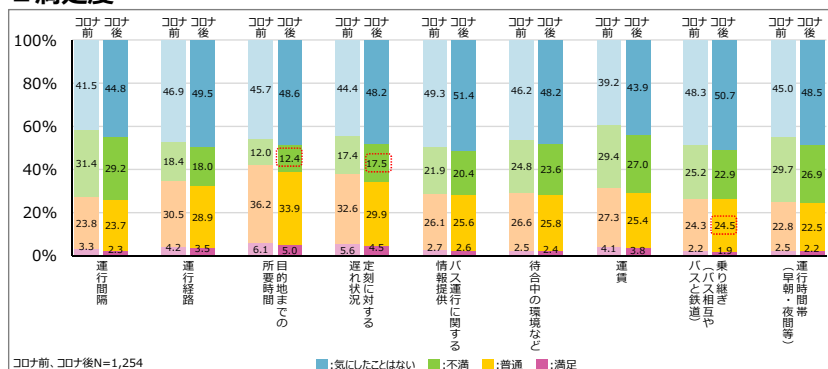
## ■ 利用目的



## ■ 利用頻度 <鉄道>



## ■ 満足度



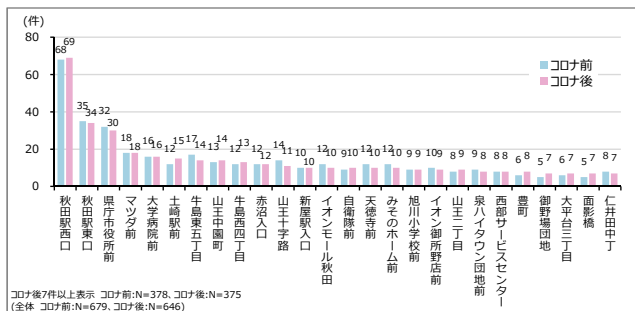
10

# 調査結果8.バス・鉄道の利用状況

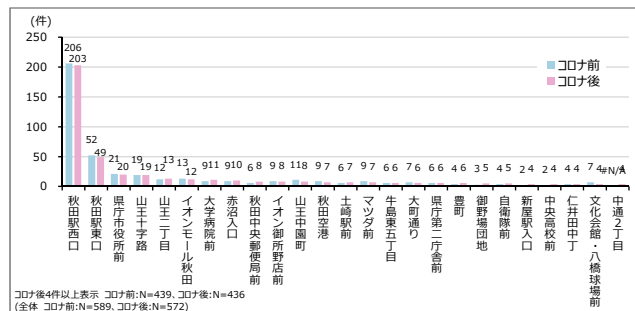
- ・バスの利用区間は、乗車は「秋田駅」「県庁市役所前」で30件以上、降車は「秋田駅」「県庁市役所前」で20件以上を占める。
- ・鉄道は「秋田駅」「土崎駅」「羽後牛島駅」で約30件以上を占める。
- ・コロナ前後で比較すると、バス停・駅毎に増減があるものの傾向の変化はない。

## ■ 利用区間 <バス>

### ○ 乗車

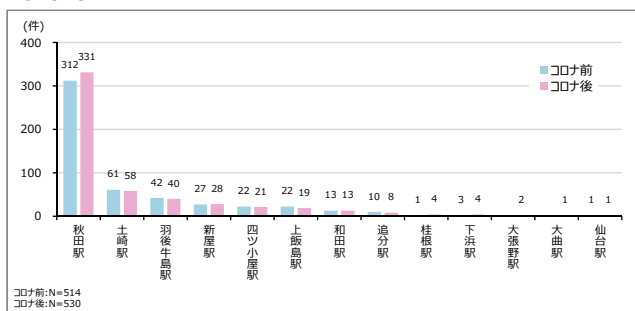


### ○ 降車

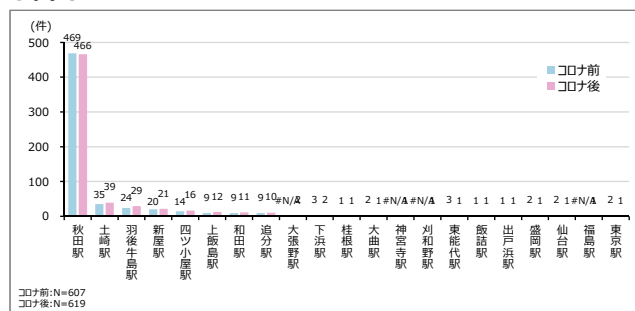


## ■ 利用区間 <鉄道>

### ○ 乗車



### ○ 降車



11

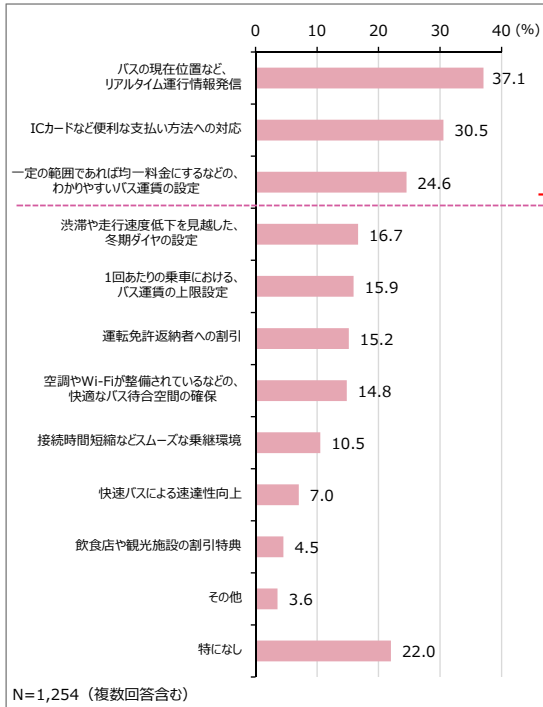


# 調査結果9.施策ニーズ（バス路線のサービス向上の取組み）

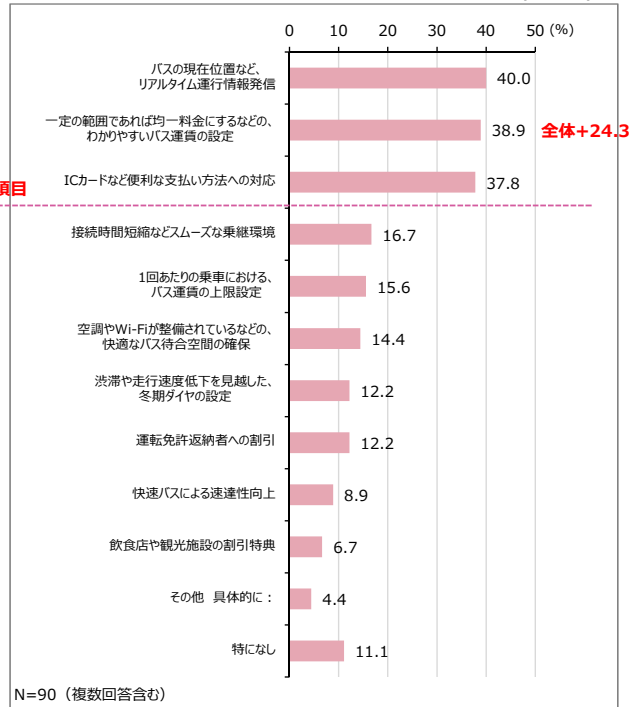
- ・バス路線のサービス向上の取組について良いと思う考えは、「バスの現在位置など、リアルタイム運行情報発信」が約4割、「ICカードなど便利な支払い方法への対応」が約3割、「一定の範囲であれば均一料金にするなどの、わかりやすいバス運賃の設定」が約2割が高い。
- ・「秋田県外出身」かつ「秋田市より規模の大きい街」の回答者では、「一定の範囲であれば均一料金にするなどの、わかりやすいバス運賃の設定」が全体よりも+24.3ポイント高い。

## ■バス路線のサービス向上の取組について良いと思う考え（上位3つまで）

（全体）



（秋田県外出身者・秋田市より規模の大きい街(N=90)）



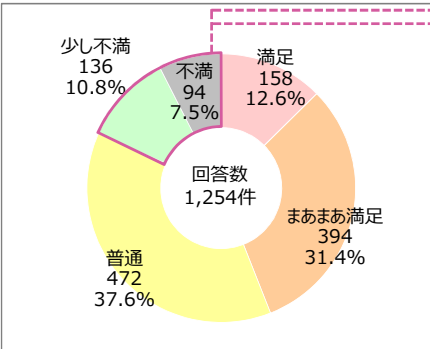
上位3位は同項目

全体+24.3

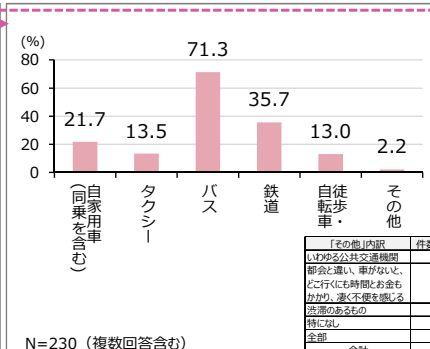
# 調査結果10.施策ニーズ（今後の施策への活用）

- ・普段の生活における移動環境の満足度は「不満」「少し不満」を合わせて約2割。「少し不満」「不満」の回答者約2割のうち、不満を感じる交通手段は「バス」が7割（全体の約13%）で最多、次いで「鉄道」が約3割（全体の約6%）。
- ・また、不満を感じる移動目的は「買物」、「通勤」が約4割（全体の約7~8%）。
- ・バスの乗り継ぎは「乗り継ぎはしたくない」が約5割。「条件次第で可」「乗り継ぎはしたくない」の回答者約9割のうち、乗り継ぎをしても良いと思う施策は「乗り継ぐバスがすぐに到着すること」が約6割（全体の約5割）。

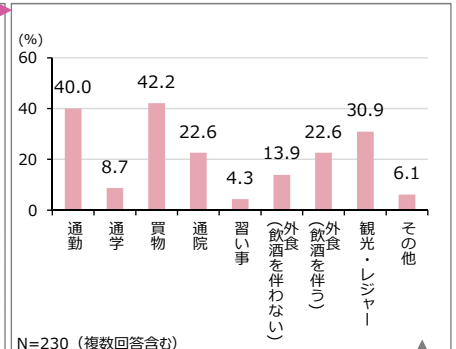
## ■普段の生活における移動環境の評価



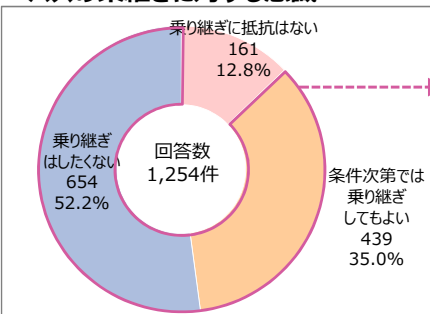
## ■不満を感じる交通手段



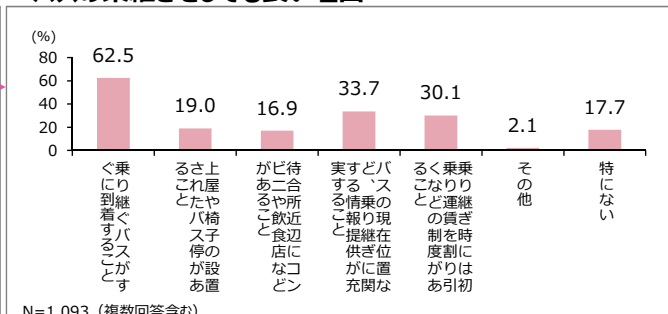
## ■不満を感じる移動目的



## ■バスの乗り継ぎに対する意識



## ■バスの乗り継ぎをしても良い理由

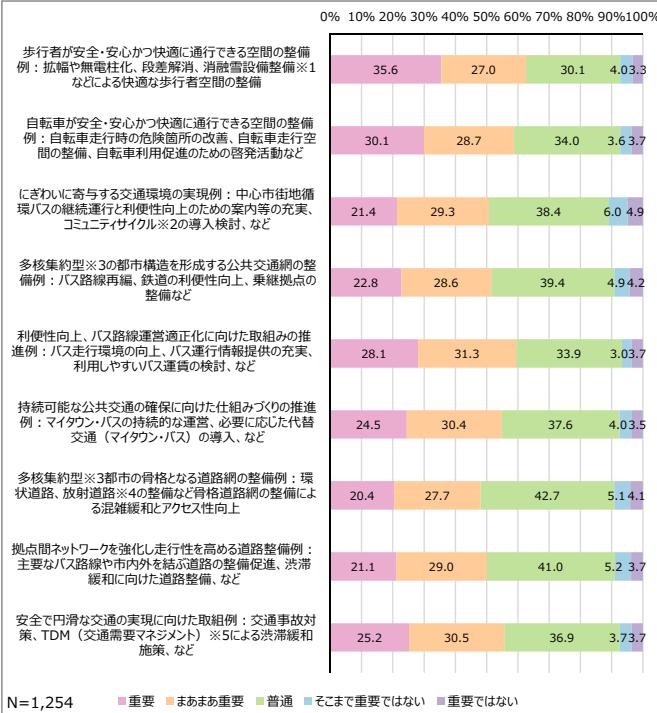


「その他」内訳	件数
移動全般	2
色々	1
冬季における全て、道路が雪で乗りにくい	1
急用	1
知人訪問等の私的用途	1
介護	1
新幹線からの接続	1
免許センターや健康診断など普段行かないようなところ	1
幼稚園や習い事への送り迎え	1
葬儀、法要	1
借宿	1
不満なのでそもそも使わない	1
特になし	1
合計	14

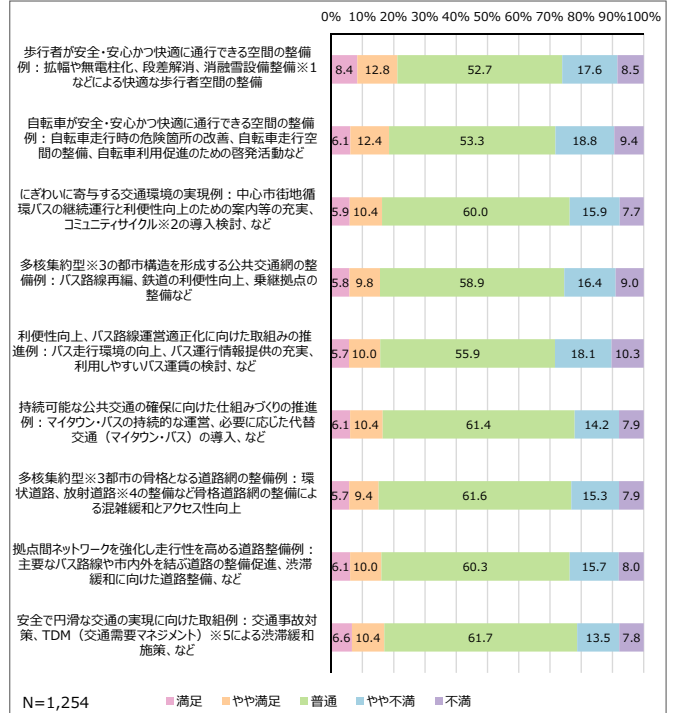
# 調査結果Ⅰ.現計画の評価

- ・重要度について、重要度が最も高いのは「歩行者が安全・安心かつ快適に通行できる空間の整備」が約4割。重要度が最も低いのは「多核集約型都市の骨格となる道路網の整備」が約2割。
- ・満足度について、満足度が最も高いのは「歩行者が安全・安心かつ快適に通行できる空間の整備」が8.4%。満足度が最も低いのは「利便性向上、バス路線運営適正化に向けた取組みの推進」が5.7%。

## ■重要度



## ■満足度

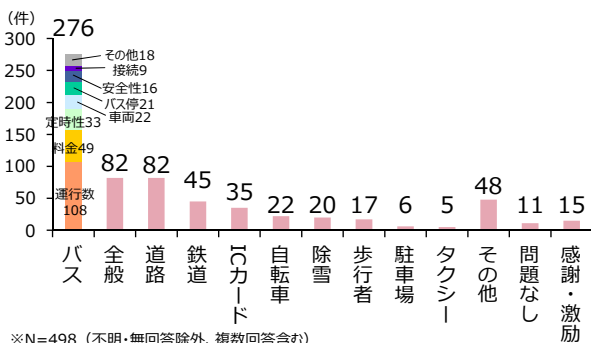


14

# 調査結果Ⅱ.自由意見

- ・自由意見はバスに関する意見が276件で最も多く、次いで公共交通全般的な意見が82件、道路に関する意見が82件、鉄道に関する意見が82件、ICカードの導入に関する意見が35件が挙げられた。

## ■自由意見集約



### <主な意見>

#### ・バス

- ・バス料金が高すぎて、本数も少ないので、秋田では通勤に自家用車は必須。雪が降ると時間通りには来ないし、バス停は寒いので、バスは使えない。
- ・高齢者が増えてきている現状、全員が自家用車を利用することも限界があると思われるので公共交通機関の充実が重要と思われる。

#### ・全般

- ・コンパクトシティを謳っているが、自家用車を利用しない層への視線が欠けている。

#### ・道路

- ・渋滞する時間帯での信号機の時間調整が密に必要。

### <主な意見>

#### ・鉄道

- ・公共の駅などがもう少し利用価値が出てくると良い。

#### ・ICカード

- ・早くICカードを使えるようにしてください。

#### ・自転車

- ・自転車道の整備。

#### ・除雪

- ・除雪があまり上手ではない。

#### ・歩行者

- ・歩道の整備がされていないので、通勤・通学が危険である。

#### ・駐車場

- ・秋田駅周辺に駐車場がない、もしくは、駐車場料金が高いので、買い物に行く気がしない。

#### ・タクシー

- ・タクシーをもっと活用できるシステムがほしい。高齢者が利用しやすく低料金であればよい。

#### ・その他

- ・改善に取り組んでいるようには見られない。

#### ・問題なし

- ・現在住んで居る場所からは、不便はありません。

#### ・感謝・激励

- ・車を持つ人が多いので、バス会社の経営は大変だと思うが、高齢者の足となってくれるのががんばってほしい。

15